

# かなべ浪漫街道

## 文化の香りあふれる歴史の町——神辺



**八丈岩の鬼伝説**  
 御領にある八丈岩には、伝説の鬼「権と八」の言い伝えがあります。神辺ではこの言い伝えをもとに創作民話が行われており、イベントのキャラクターとして鬼の「権と八」は、現代に活躍しています。

**葛原しげる童謡歌碑**  
 御領から徒歩20分  
 葛原しげる(一八八六—一九六〇)は琴の名手であった勾当の孫にあたります。教育者・童謡作家であった彼は、数多くの童謡とともに全約四〇〇校の校歌の作詞も手がけています。生家前には代表作「夕日」の童謡碑があり、毎年十二月には、「くすはら祭」が行われています。

**葛原勾当・しげる生家**  
 Birthplace of Koto Kuzuhara-Shigeru Kuzuhara  
 御領から徒歩20分

**童謡歌碑**

至井原

**八丈岩**  
 御領から徒歩30分  
 その名のとおりこの付近には大きな岩や奇岩が多く、オリエンテーリングのコースも設定されています。神辺の鬼伝説「権と八」の物語の舞台になっています。

Hachijoiwa Rock  
**八丈岩**

**山陽道道しるべ**  
 御領から徒歩30分  
 湯野から徒歩15分  
 国分寺の東側に八幡神社があり、その境内に「一八七〇年に作られた山陽道の道しるべが立っています。もとは国分寺入口付近にあったといわれ、当時の往来を偲ばせてくれます。

**菅茶山記念館**  
 湯野から徒歩19分  
 郷土の誇り菅茶山の偉業をたたえて建設し、菅茶山に関する文献資料等を収蔵、研究及び展示し又町ゆかりの画伯の作品も展示してあります。  
 開館時間/午前九時~午後四時三十分、休館日/月曜日(年末年始・入館無料)  
 TEL(〇八四)九六三二八八五



**吉野山公園**  
 神辺から徒歩20分  
 この公園は昔から桜の名所として知られ、春になると吉野・八重桜約一〇〇本が咲き乱れ、梅雨どきにはあじさいも咲き誇り、人々の心をなごませてくれます。

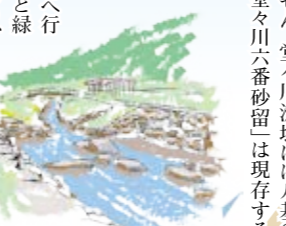
**福山市神辺歴史民俗資料館**  
 神辺から徒歩30分  
 神辺城跡に連なる山に位置する資料館には三つの展示室があり、原始・古代から現代に至る神辺の歴史資料が系統的に展示されています。

(開館時間/午前九時~午後四時三十分、休館日/月曜日(年末年始・入館無料)  
 TEL(〇八四)九六三二三六六

**神辺城跡**  
 神辺から徒歩30分  
 神辺城は神辺平野を望める黄葉山に三三五年頃朝山景連が築城したといわれています。以来約三〇〇年間備後地方の拠点として威光を誇っていました。

**菅茶山記念館**  
 湯野から徒歩19分  
 郷土の誇り菅茶山の偉業をたたえて建設し、菅茶山に関する文献資料等を収蔵、研究及び展示し又町ゆかりの画伯の作品も展示してあります。  
 開館時間/午前九時~午後四時三十分、休館日/月曜日(年末年始・入館無料)  
 TEL(〇八四)九六三二八八五

**堂々川の砂留**  
 湯野から徒歩30分  
 御領から徒歩30分  
 湯野から徒歩25分  
 神辺町には、土石流災害を防ぐ砂留が多数残っています。古いものは江戸時代に築造され四十基近くが現存し、全国的にも類を見ません。堂々川流域には八基の砂留があり、堂々公園下の「堂々川六番砂留」は現存する砂留の中で最大のものです。



**堂々公園**  
 Dodo park  
 湯野から徒歩30分  
 御領から徒歩30分  
 湯野から徒歩25分  
 国分寺からゴルフ場へ行く道の中ほどに、水と緑の調和した公園があり、各種イベントやハイキングコースとして利用されています。また公園の南端には県内で最大の砂留が現存しています。

**備後国分寺跡**  
 湯野から徒歩13分  
 御領から徒歩15分  
 湯野から徒歩15分  
 備後国分寺は奈良時代に全国六十六ヶ所建立された国分寺のひとつです。一九七二(昭和四七)年からの発掘調査で講堂・金堂・塔の跡が発見されました。現在の建物は六九四年に再建されたものです。



**備後国分寺**  
 Bitchu Kokubunji Temple  
 湯野から徒歩13分  
 御領から徒歩15分  
 湯野から徒歩15分  
 国分寺西側丘陵に広がる追山古墳群は、十基の古墳が確認されています。その中でも最大規模を誇る第一号古墳からは銀象がん太刀や環頭柄頭(県重文)などが出土し、当時の有力な豪族の墓ではないかと思われています。

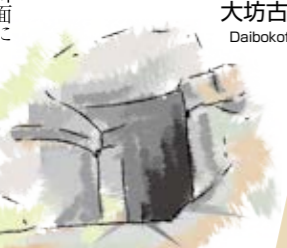
**追山第一号古墳(県史跡)**  
 湯野から徒歩13分  
 御領から徒歩15分  
 湯野から徒歩15分  
 国分寺西側丘陵に広がる追山古墳群は、十基の古墳が確認されています。その中でも最大規模を誇る第一号古墳からは銀象がん太刀や環頭柄頭(県重文)などが出土し、当時の有力な豪族の墓ではないかと思われています。



**陰陽石**

Chujohachiman Shrine  
**中条八幡神社**

**中条八幡神社陰陽石(石霊神)**  
 湯田村から徒歩30分  
 八幡神社の境内に、この神社を建立するとき土の中から出てきたといわれる陰陽石があります。この地区の人々の信仰もあつく、靈験あらたかで幸福をもたらすといわれています。



**大坊古墳**  
 Daibokofun

**大坊古墳(県史跡)**  
 支配の強化(大和政権の影響)中条の谷を見わたす丘陵の東斜面に造られた大坊古墳は、直径14m、高さ約5mの南北方向が長い長円墳で、石室の長さは約11m、幅・高さとも約2mと大規模なものです。特徴は、石材に磨かれたような石を使っていること、玄室(遺体を葬る部屋)と羨道(玄室へいたる廊下)が2本の石柱で隔てられています。

**亀山弥生式遺跡(県史跡)**  
 湯田村から徒歩10分  
 弥生時代初期、この地方において最初に米作りが行われたと思われる遺跡です。周囲には外敵を防いだと思われる二本の濠も発見されています。また丘陵上の亀山第一古墳からは短甲(ゴロイ)など武器も多数出土しました。

**亀山弥生式遺跡**  
 Kameyamayayoiishi Remains

福山市役所神辺支所  
 神辺文化会館・図書館

Renjuku and Kan Chazan former residence  
**廉塾ならびに菅茶山旧宅**

Kannabe Honjin  
**神辺本陣**

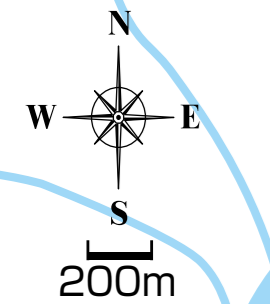
Amawaketoyohime Shrine  
**天別豊姫神社**

Ruins of Kannabe Castle  
**神辺城跡**

Yoshinoyama Park  
**吉野山公園**

**神辺歴史民俗資料館**  
 Kannabe Historical And Folklore Museum

↑詳細は裏面へ



- 古代山陽道(石州銀山道)
- 近世山陽道(西国街道)
- 駐車場
- トイレ

**かなべ浪漫街道**  
 神辺町には古代山陽道と近世山陽道が交差しており、現在も3本の国道が通り交通の要衝となっています。各所に幅広い時代の名所・旧跡が点在し、2016年夢街道ルネサンスの認定を受け「かなべ浪漫街道」と命名しました。歴史浪漫あふれる町「かなべ」の遥か古代から近世にいたるまで諸国の人々が行き交った道を歩いてみませんか…

**観光ボランティアガイドのご案内**  
**廉塾・葛原邸**  
 毎週 土日・祝日の午前10時より16時まで常駐待機しています。ガイド待機所にお申し出下さい。平日および団体は、週間前までに要予約。観光協会へ電話にて但し葛原邸は土日のみ待機。年末年始・お盆は休館します。

## 宿場町を歩く 温故知新 歴史にふれるまち

江戸時代の面影を今に残す町並み。参勤交代の大名が、和歌を詠む旅人が、牛を追う村人が行き交った道。ときの流れに逆らいながら歴史の旅へあなたをいざなう。



**廉塾ならびに菅茶山旧宅**  
(国特別史跡) 神辺駅から徒歩15分 1.1km  
菅茶山(一七四八〜一八二七)は川北村に生まれ、十九才のとき京へ上り朱子学を学びました。郷里へ帰つて塾を開き、これがのちに廉塾とよばれました。ここでは全国から常時二〇人くらいの塾生が学んでおり、頼山陽も塾頭をしていたこともありました。当時の講堂・寮舎・居宅等が現存し、講堂の前には塾生が筆や硯を洗ったといわれる水路や、菜園・養魚池も往時の姿をとどめています。



神辺駅より15分 1.1km  
●廉塾ならびに菅茶山旧宅 P



**本陣は江戸時代に神辺本陣**  
(県重要文化財・史跡)  
神辺駅から徒歩10分 0.7km  
本陣は神辺本陣は江戸時代に参勤交替の大名が宿泊した施設です。延享五年(一七四八)に建てられた建物は、黒塗りの土塀に囲まれ、御成門から中に入ると、御成の間、上段の間、二の間と全く手を入れられていない当時の姿をそのまま伝えています。また、別棟の櫓、馬屋、茶室などもあり、江戸時代の本陣施設全体の様子、風情を残す数少ない史跡です。

神辺駅より10分 0.7km  
●神辺本陣 P

●神辺町商工会館  
高屋川

●太閤屋敷跡 ●小早川文吾旧宅跡 ●

●神辺東本陣跡 ●北條殿亭旧宅跡 ●  
●観光ガイド待機所 ●トイレ ●



廉塾(濡れ縁)

**菅茶山の墓(県史跡)**  
神辺駅から徒歩20分 1.3km  
菅茶山は文政十年(一八二七)に没しましたが、弟子である頼山陽は、師の功績をあまりとくなく記録し、その墓碑は頼山陽が自ら撰し書いています。

●菅茶山の墓 ●



●神辺城説明板 ●

●天別豊姫神社 ●



■交通  
〔車〕福山市内から(国道313号)約15分  
〔車〕福山東ICから(国道182号)約5分  
〔車〕東城ICから(国道182号)約60分  
〔車〕福山駅から福塩線神辺駅まで約13分  
井原駅から井原線神辺駅まで約18分  
**神辺町観光協会**  
広島県福山市神辺町川北九四八番地の二  
(神辺町商工会内)  
TEL(〇八四)九六三一二三〇  
FAX(〇八四)九六三二五八  
10時〜15時まで

●案内板 ●  
●中国銀行 ●  
●タクシー ●  
●神辺駅 ●

国道313号

